

120810 「ちはや園地」にて

今回は、8/8に金剛山頂付近の「ちはや園地」において撮影した生きものを紹介します。

※ 3枚目は「ヘビ」の写真ですので、苦手な方は見ない方がいいかも知れません…

◆写真①： アキアカネ (未成熟)

◇この時期、「ちはや園地」で低く群れ飛んでいるトンボは…

「アキアカネ」です！

◇この種は、6月中旬頃から羽化し始めますが、羽化した個体は山地の頂上部付近や溪流沿いに移動して、小さな飛翔昆虫などをしきりに捕食しながら未成熟期間を過ごします。

◇そして、秋になって涼しくなると、平地部の稲刈り後の田んぼや池沼に戻ってきて生殖活動を行うのです。

◇この暑い時期に山頂付近等で過ごすのは、暑さが苦手のため、“避暑”に来ているのかも知れませんね…

◇日本の“赤トンボ”の代表選手ですが、未成熟個体はまだそれほど赤くはありません。

◆写真②： ヤマジノホトトギス

◇ご存じの方も多いでしょうが、「ホトトギス」の名は、花被片にある斑点や斑紋が、野鳥の「ホトトギス」の胸にある模様似ていることから来ています。

◇万葉集では、野鳥の「ホトトギス」の歌が150種余り詠われているようですが、野草の「ホトトギス」や「ヤマジノホトトギス」の方は見当たらないようです。

◆写真③： シマヘビとトノサマガエル

◇トノサマガエル“大ピンチ”ですね…





